

教団新報

定 価 1部144円(本体133円+共206円)
予約購読料 1年分 千共 5,150円
紙代のみ 3,600円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 秋 山 徹
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし



台湾内外 107 名の青年が一堂に集う

I Love Taiwan Mission

活き活きとした青年たちに触れる

今年も台湾基督教長老教会(PCT)青年委員会が主催する「I Love Taiwan Mission (I-LT)」が、「初めThe beginning」というテーマで7月4日から21日に行われた。I-LTの企画・運営はすべてPCT青年主体で行われており昨年末から準備を始めていたそうだ。「教会活動に関わることで楽しくて」活き活きしている台湾青年の姿に、日本の青年は毎年感銘を受ける。そして、教会に青年たちの居場所があることに羨ましさを感じて帰国する。

I-LTは、海外で生まれた台湾ルーツの青年が

台湾ユースミッション

台湾と日本の歴史に学ぶ経験

8月17日から27日、台湾ユースミッションが行われた。2006年に始まった日本基督教団と台湾基督教長老教会(PCT)の青年交流である。日本の青年4名(新報で公募)と牧師1名が台湾を訪ねた。



史努櫻(スーヌーイン) 教会にて、見事な機織りの衣装

(台湾語、中国語、日本語、英語を話す)が、台北市から高雄市まで案内してくれた。双方のメンバーの多くが2年前のユースミッション(軽井沢など)や東北教区キャンプで友になっていた。今回は日本側も青年リーダーを置いた。ほぼ毎朝夜、デポジション(一人一人が担当の礼拝)を行い、聖書を読み語り合った。19日は台北市の4教会

夏期休暇中に帰郷し、現地教会での奉仕を通して神様と台湾に出会うことが最初の目的であった。現在は国内外の青年や現地教会が共に主を礼拝し、仕え合うことで「主の大家族」を体験することが中心になっている。

今年は107名の国内外青年(海外から10ヶ国)が集まった。メインは10日間の現地教会における奉仕である。参加者は台湾各地の教会に派遣され夏キャンプの奉仕をする。キャンプ中、海外青年は自らの

文化、歴史、料理、踊り、讃美歌を分かち合う。原住民の教会に派遣された参加者もあり、現地教会の青年が井上伊之助(日本が統治していた時代に原住民へ大きな影響を与えたキリスト者)について子どもたちに教える時間があったそうだ。参加者の印象に深く残ったのは、台湾教会の大人が青年たちに、青年たちが子どもたちに、そして海外青年に向ける非常に温かく細やかな「まなざし」だった。小さき者を慈しむ主イエスの教え(マタイ25:40)を彼ら、彼女らの「まなざし」を通して思い起こしたという声があった。

教団は台湾協約委員会を通して2009年からI-LTへ青年を派遣している。これまでの参加者や、他の海外派遣プログラムの参加者の情報共有によって、久保島結希氏(東大宮)、志茂誠氏(大和キリスト)、小林七海氏(芦屋浜)、大山海声氏(セムナン)を派遣した。祈りと支えに感謝する。(廣中佳実報)

カナダ青年研修ツアー

初の青年研修を開催

8月20日から29日まで、世界宣教部を通して派遣された教団、聖公会、在日大韓教会等に属する青年たち10名をバンクーバーに迎えて、研修ツアーを行った。

20日到着後、翌21日は、プリティッシュコロンビア州立大学を訪ね、構内

にあるバンクーバー神学校でR・トッピング校長から同校の神学教育の特色についてビデオを使った説明を受けた。先住民博物館、ボタニカルガーデンを見学し、先住民の文化と自然に触れた。

24日は、ダウンタウン東部のホームレスの街で人々に仕え、シェルターと食事、その他、様々なサービスを提供している第一合同教会を訪ね、聖書とキリスト教信仰に深く根差し柔軟に人々のニーズに応える姿勢に一同深く心を打たれた。24日の夕方から26日にかけて、5つの近隣・郊外の教会のメンバー宅に分かれてホームステイを経験し、日曜日はそれぞれの教会に出席した。

28日は、日系人発祥の地スティフストンから太平洋を望み、カナダの雄大な自然を体感し、充実した9日間の学びを振り返った。

(木原葉子報)



ウエストポイントグレイ合同教会にて先住民のドラムと歌に聞いた

▼教区青年担当者会・教育委員会▲

若い世代が教会を居場所とするために

《教区青年担当者会》

第8回教区青年担当者会が、9月3日から4日にかけて教団会議室で開催された。

今年度は講師に岡村直樹氏（東京基督教大学大学院教授）を迎え、一日目に「ユースミニストリーの実践とリーダー養成」と題した講演をしてもらった。いかに若い世代が教会を居場所とできるかに主眼が置かれた講演であった。教会や地区などの組織において、ユース（若者）と共にいるリーダーたちは、しばしば若者と上の世代との「中間管理職」のような存在となる。ユースリーダーたちに前からある型を押し付けるのではなく

主体性を尊重し、また時代を見据えた柔軟さをもつて接していくという、教会のあり方も教示された。一日目は講演のあと、ユース向けに開催された「リフォーユース500」「台湾ユースミッショ」「えきゅぷろー」の報告がなされた。

二日目は分団のあとにまとめの時間をもった。このまとめの時は、参加者からの多くの本音がぶつけられたひとときであった。たとえば一日目に報告されたユース向けの諸集会も、教団新報や他の媒体で情報が発信されているが、その活発さを共有できているのはごく一部であることも指摘された。教団内の諸教会が、どうしたらひとつとなっ



岡村直樹氏（TCU 大学院教授）による講演

て青年育成に取り組めるか、そのことについてはもっと検討していかねければならない。また、「地方」の教会の青年をよりよく「都市」の教会に送り出したという意見も多く出された。青年世代の特徴として、ある程度の年齢になったら東京などの大都会に出て行く人が多い。それは教会でも同じである。せっかく教会あるいは地区で大切に育てた青年も都会へ送り出さざるを得ない。都会にある教会には、そうした青年を受け入れてほしいが、しかしそれが十分に機能していないのが現状である。

この青年担当者会は「無事に終わらせる」ための会ではなく、こうした率直な意見をぶつけてもらい、課題を見つけてより良い青年育成につなげる場であることを委員として実感した次第である。

（望月麻生報）

《教育委員会》

第6回教育委員会が、9月4日から5日にかけて教団会議室で開催された。協議事項は2018年度クリスマス献金関連を中心に行われた。今回は特に、5日に秋山徹総幹事との懇談を持

った。話題は教団に青年担当者を置くことについてである。

秋山総幹事は、台湾長老教会（PCT）との協約に「青年部署を作る」ことを盛り込んだこと、17年3月、京都で行われた国際会議でも青年のネットワーク作りについての話題が出たことなどを挙げ、これらをどう結びつけていくかについての構想を示した。それは、インターネット上に様々な情報を共有できる場を作り、より多くの人に情

報を提供し、必要とする人材や力を結びつけていくためにはどうしたら良いか、そこに注視しての「プラットフォーム構想」ということであった。これに対して、委員から様々な質問・意見が出された。情報共有や行事への呼びかけ、また人と人とのつながりにおいて、インターネットは本当に有効であるかどうかという疑問が多く呈された。また、情報共有も大切ではあるが、今は青年への伝道・牧会に関して専門的に関わる人材が必要であるという意見も強くあった。

また、教区青年担当者会でも話題になってい

た、「地方」の教会出身で「都会」で新たな生活を始める青年層への働きかけも進めていかねければならないことへの意見もあった。

青年担当者設置の件は、昨年度よりすでに「早急に進めるべきこと」として教育委員会では深く議論されている。青年担当者会でも強く要望され

ている。なんとかして形を作っていきたいと願いつつ進めた今総会期であり、その最後の委員会であった。

（望月麻生報）

公 告

教師検定委員会では、教師検定規則第6条⑥に基づき、同規則第3条6号対象者（所謂Cコース受験者）に対する認定面接を下記のように実施します。

2019年秋季試験以降に新たにCコース受験を志願される方は、本委員会の指定した書類を2019年1月11日（金）までにご提出いただき、下記日程の面接にご出席ください。なお、面接要領・提出書類用紙については、百円切手を同封の上、本委員会事務局に直接お申込みください。

★認定面接

日時 2019年2月28日(木)15時～(予定)

場所 日本基督教団 4階小会議室

なお、認定面接予定者には、書類受付後、案内通知を送付します。

2018 年 10 月 6 日

日本基督教団教師検定委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

(電話 03-3202-0546)

教師検定試験公告

2019年春季教師検定試験を左記の要領で行います。

一、受験要綱の申し込み

受験要綱と教団指定の願書用紙は160円切手を同封し、正教師受験志願者か補教師（A、B、Cコースの別も）受験志願者かを明記した上、封書でお申し込みください。なお、正教師受験志願者は「教師検定規則第12条②」によるものに限りです。

二、受験願書の提出

受験願書と必要書類を整えて、受験料とともに所属教区に提出してください。

①教区締切 2018年11月12日(月)

（教区により締切が早まる場合がありますので、教区事務所に確認してください）

②教団締切 2018年12月12日(水)

（各教区から教師検定委員会に提出する際の締切です）

*受験料は正教師1万3千円、補教師1万円

三、補教師について

①「説教」「釈義」の課題テキスト

旧約 出エジプト記6章2〜13節

新約 マタイによる福音書14章22〜33節

②コースによって「説教」「釈義」の提出内容が異なりますので、必ず受験要綱でご確認ください。

③補教師（CⅢコース）の牧会学の課題

『牧会とは何か』について論述してください。

④Aコースについては、教師検定規則第4条第3号にもとづく試験が実施されます。

同対象者は、神学校を通して説明をうけ、それにもとづく手続をおこなってください。

四、正教師について

受験志願者は、直接教師検定委員会までお問い合わせください。

五、提出物(説教、釈義、牧会学等)締切について

当委員会への提出締切日は、2018年12月17日(月)午前中必着です。

六、学科試験と面接試験について

学科試験は2019年2月26日(火)、面接試験は2月27日(水)、2月28日(木)に東京・日本キリスト教会館にて実施します。詳細は受験志願者に通知いたします。不明な点は直接、当委員会へお問い合わせください。

2018年10月6日

日本基督教団教師検定委員会

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田2-3-18-31

電話 (03) 3202-0546

電話 (03) 3202-0546

電話 (03) 3202-0546

電話 (03) 3202-0546

電話 (03) 3202-0546

電話 (03) 3202-0546

電話 (03) 3202-0546

電話 (03) 3202-0546

▼伝道対策検討委員会▲

次総会期、委員会継続を決定

8月31日、教団会議室にて第8回教団伝道対策検討委員会を開催した。前回議事録承認の後、第6回常議員会において、議案「教団伝道推進に関する件」（「伝道推進基本方針」展開、「献金運動」具体化、伝道推進を



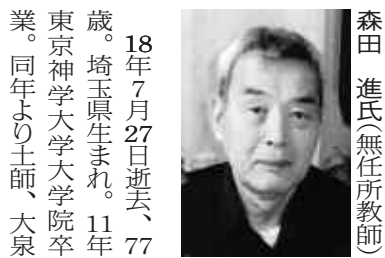
40 総会期最後の委員会を開催

目的とした教団機構改定検討）は、内容を整えて次回常議員会に提案することとなったことが報告された。続いて、次総会期に本検討委員会を継続して設置することに関して、石橋秀雄委員長は、これま

き、委員には全教区議長を入れてほしいといった意見や要望が出され、再度三役が議案を検討することとした。次に、今後検討すべき事項について話し合い、第41回教団総会において、教団機構改定に関する協議する時間をもつことを教団総会準備委員会に提案することとした。また、常議員会における

検討を進めるために、第41総会期第1回常議員会において、これまでの機構改定に関する議論や課題等について協議する時間をもち、「機構改定案骨子」の内容を実質的に審議することにしてほしいとの意見が出された。その後、本検討委員会委員の労苦に対して感謝し、今総会期最後の検討委員会を終えた。

(雲然俊美報)



森田 進氏(無任所教師)

18年7月27日逝去、77歳。埼玉県生まれ。11年東京神学大学大学院卒業。同年より土師、大泉ベテル教会を牧会。遺族は妻・森田直子さん。

事務局報

教師異動

平良川辞(代)仲尾次清彦
就(代)玉那覇正信
東京台湾就(代)郭 寛城
東大阪 就(主)脇田眞一
尼崎竹谷就(担)垣内尚美
鶴見 辞(代)吉田明美
北海教区辞(教)日向恭司
名寄 辞(代)藤吉求理子
就(主)日向恭司



水野 穂氏(隠退教師)

18年8月11日逝去、61歳。福島県生まれ。83年東京神学大学大学院卒業。85年より久世、飯盛野、浜松、屋島教会を牧会し、18年隠退。遺族は妻・水野文さん。

教区議長コラム

◆ 兵庫教区 ◆

古澤 啓太

当教区は兵庫県が範囲で、111教会・伝道所、現住陪餐会員は6834名(16年度)です。教区の置く4地区は、阪神2992名、神戸2599名、播州156名、但馬87名です。うち2地区計で7割強を占める阪神と神戸が長らく活動休止状態でした。が数年前に神戸が復活、阪神はまだ有志形式ですが今年度急ピッチで地

避けて通れない教区

させざるを得ず、むりくり一つの県にして播磨(播州)・但馬の豊かな税収を神戸に注ぎ込んで95年1月の大地震以降、各地で災害が発生し、他教区の有されます。そこにさらに教団の合同教会の面やその多様性、旧教派単位的集団離脱

き、委員には全教区議長を入れてほしいといった意見や要望が出され、再度三役が議案を検討することとした。次に、今後検討すべき事項について話し合い、第41回教団総会において、教団機構改定に関する協議する時間をもつことを教団総会準備委員会に提案することとした。また、常議員会における

状況確認をした。続いて、6月11日から24日にスイスで開催された「ミッション21・ユース・サミット」及び7月28日から31日に台南で開催された「ミッション21・アジア・フェローシップ・ユース」について、岸ひかり氏(千葉本町)から報告を受けた。それぞれ関係教団と各教会の青年代表が集い、デボーションやワークショップが精力的に持たれた。日本からも引き続き派遣できる人材を見出す必要があることを受け止めた。

主の御名を讃美いたします。7月6日から8日にかけて、西日本広域にわたって襲った記録的豪雨のために、「社会委員会・西日本豪雨緊急救援募金」に多額のご献金をお献げいただきありがとうございます。9月19日現在、2278万4109円をお献げいただいております。つきましては、このご献金を前後して起こった、大阪北部地震、台風21号被害のためにも用いさせていたきたいと思っております。どうぞ、皆様のご理解をお願いいたします。

2018年9月27日
日本基督教団総会議長 石橋秀雄
日本基督教団総幹事 秋山 徹
日本基督教団社会委員会委員長 森下 耕

第58回「キリスト教教育主事」認定試験公告

第58回(2019年)「キリスト教教育主事」認定試験を次のとおり行います。

◆受験願書提出期限 2018年12月10日(月)

(提出物1〜7を教区に提出)

◆論文提出期限 2019年1月25日(金)

(試験科目ハの論文・教団教育委員会に提出)

◆試験期 日 2019年3月8日(金)

午前11時〜午後2時

◆試験場所

〒540-0004大阪府中央区玉造2-26-47

TEL06-6761-18562

大阪クリスチャンセンター会議室

◆試験科目

Ⅰ.筆記試験 日本基督教団教憲、教規および諸規則(60分)

*試験時間に日本基督教団「教憲教規および諸規則」を貸し出します

Ⅱ.面接

ハ.論文 400字詰原稿用紙15〜20枚

「日本におけるキリスト教教育の歴史と展望」

◆提出物

◎以下の書類を整え必ず期限までに教区事務所に提出する。

1. 受験願書・所属教会主任教師の推薦書：1通

2. 履歴書・信仰歴：1通

3. 教区の推薦書：1通

(以上は教育委員会所定のもの)

4. 出身学校校長の推薦書：1通

5. 出身学校成績証明書：1通

6. 「私はなぜキリスト教教育主事をめざすのか、召命との関連で」記述書 400字詰原稿用紙2枚程度

7. 受験料 5,000円

教育委員会所定の用紙は、〒169-0051

東京都新宿区西早稲田2-3-18-31 日本基督教団教育委員会に、住所、氏名を記した返信用封筒に120円切手を添えて請求してください。

◆問い合わせ

日本基督教団教育委員会 〒169-0051

東京都新宿区西早稲田2-3-18-31

TEL03-3202-10544

FAX03-3207-3918

2018年10月

日本基督教団教育委員会 委員長 具志堅篤



大谷石の礼拝堂、守られて

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

益子教会は、栃木県東南の端にあります。町は益子焼が有名で大勢の陶芸家が住んでおり至る所に登り窯があります。益子教会の造りは栃木県産の大谷石を積み上げた教会です。この建材は夏にひんやりと涼しいです。2011年東日本大震災によって益子も大きく揺れました。その揺れで陶芸の命ともいえる登り窯は至る所で崩れました。陶器販売も痛手を負いました。私の知り合いも登り窯が壊れてしまい現在も直せない状況です。

伝道報告

伝道の
ともしび

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」
ルカによる福音書第10章17節～20節

与え続ける神様を信じて

関東教区・益子教会牧師 大下 正人

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

全国キリスト教学校人権教育セミナー
「共に喜ぶ世界を創るため」をテーマに
8月16から18日にかけて、「第29回全国キリスト教学校人権教育セミナー」が開催された。会場は、高知教会と清和女子中等学校(小西二日天校長)で、この会場校は「女子校だから、小規模だから、少人数だから」できることを大切にする精神を特色として教育している。そのためこの研修会の会場を引き受けるにあたっては、前日に教職員全員で全館一斉清掃を行うなどの心意気で参加者を迎えてくれたことは感謝であった。
今回のセミナーの主題は、「共に喜ぶ世界を創るために」SAIYAWAであった。開会礼拝、基調報告後、「高知・長浜の教科書無償運動をふりかえる」と題した吉田文茂氏の講演と「沖縄の今を通して、平和・人権と暴力を考える」と題して高里鈴代氏の講演を聞いた。
その後、4つの分科会に分かれ、4人の発題を聞いて協議を行った。発題者は、第一分科会「地球にやさしく、光る町土佐の赤岡を歩く」部落差別解消教育の創造を願いつつ(フィールドワーク)案内・解説は竹村暢文氏、第二分科会「セクシャル・マイノリティ―あなたはいつ異性愛者と決めましたか?」浜口ゆかり氏、第三分科会「在日外国人の人権―朝鮮学校(ウリハッキョ)からの報告」李一烈氏、第四分科会「発達障害がい者」貸し出します―当事者の視点から、社会や支援を考えよう(玉利麻紀氏であった。
分科会に分かれると参加者は一つの分科会での情報しか知ることができないが、この研修会では、直前の全体会で「分科会講師によるリレートーク」の時間を持つ工夫があり、参加者はすべての分科会で行われる概要を知ることができて有益であった。その後、「反戦平和の学び」と題して岡村正弘氏から高知空襲の話聞き、平和資料館「草の家」などの見学を行った。
最終日は、聖書研究、全体会、総会が開催され散会した。
(宮本義弘報)



秋山 武子さん

主の声を聞いて生きる



1936年高知県土佐町生まれ。会計長老を21年間務めた。土佐嶺北教会奏楽者。俳句が趣味。

それは、十代の半ば、山の中の帰り道の突然の声であった。一人の婦人から「あんた、本山にキリストの教会ができたのを知っちゃうかね」「知らん」「二度、教会に行つて、みーや」その声を聞いて、教会へと足を運んだという。
そこに、初代牧師の川添徳治先生が待っていた。会ったのだけれども、すぐに、集団就職のため滋賀県へ行くことになった。その時に、片道10キロの道を川添先生が、駅まで自転車まで来てくれた。聖書を渡されて、「苦しい時、悲しい時にも、どんな時にも、聖書を読みなさい」と言われた。本を読むことが好きだったので、聖書を読むことは苦勞し

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。

広島・呉市天応が大災害に苦しんでいる。わたしが小学生時代に通った学校の校庭は災害救援の車両でいっぱいだった。住んでいた天応の家はそのまま残っていて広島に行くたびこの家を見る。この家を見ると元気が出る。この地域で大切にされて育った。今年6月に行つたときには、自治会長の溝口さんが門の所にいたので声をかけた。「秀、秀、秀」とわたしの名前を思い出すようにして50年前を思い起こしてくれた。
7月に見舞いのために呉市に

行き「キリスト教会・呉ボランティアセンター」の働きを知らされた。呉市の教会が力を合わせて天応での働きをしている。呉市手教会の三矢亮牧師は、大型免許を持っていて懸命に土砂を運搬していた。呉平安教会の小林克哉牧師は、ボランティアをしながら「わたしは牧師です、祈らせてください」と言う。被災した方が「そうだと思う」

「今では、嶺北の地に帰されて、朝と夕の礼拝、祈祷会、諸集会で、御言葉を聞くことが楽しみです」と答えた。

キリストさんのお陰

益子教会も例外ではなく、大谷石は横揺れに弱く倒壊するかもしれないと、当時の代務の先生が見に行くと、建物自体は神様が守ってくださいました。屋根につけられた十字架とその周りだけが壊れました。まるで神様がその会堂を守られた様に思えました。その後、皆様の東日本震災救援募金によって補修をしました。その3年後に私は益子教会に就任しました。就任以前は10名前後の教会でしたが、就任当時、教会員は0名でした。以前の教会員は、年を重ね高齢化が進み施設に入ったり、引越したり、消息不明であったり、様々な事情で教会から離れてしまいました。礼拝も一人で行い、壁に向かつて説教をするようなことも度々ありました。